

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公表番号】特表2010-522026(P2010-522026A)

【公表日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2009-554611(P2009-554611)

【国際特許分類】

A 6 1 C 7/00 (2006.01)

A 6 1 C 7/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/00 Z

A 6 1 C 7/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月1日(2011.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

歯列弓用の1組の歯科矯正装具と、

前記装具上に延在する第1マトリックス材料と、

前記第1マトリックス材料上に延在する第2マトリックス材料であって、前記第2マトリックス材料は、前記歯列弓の歯の側面の一部の外形に一致する外形を備える表面を有する部分を含む、第2マトリックス材料と、

前記第2マトリックス材料に接続している咬合停止部材であって、前記咬合停止部材は、前記歯列弓の咬合側歯表面の少なくとも一部に一致する外形を備える表面を有する区域を含む、咬合停止部材と、を備え、前記咬合停止部材のショアA硬度が前記第1マトリックス材料または前記第2マトリックス材料のいずれかのショアA硬度より高い、歯科矯正治療用のインダイレクトボンディングトレー。

【請求項2】

歯科矯正治療用のインダイレクトボンディングトレーを製造する方法であって、

患者の歯列弓の咬合面の少なくとも一部に一致する外形を備える表面を有する咬合停止部材を準備する工程と、

歯科矯正装具を前記患者の歯列弓の模型の歯表面上に定置する工程と、

前記停止部材を前記歯列弓模型の咬合面上に定置する工程と、

ある量の第1マトリックス材料を前記歯科矯正装具に適用する工程と、

前記第1マトリックス材料を固化させる工程と、

前記歯列弓模型、前記歯科矯正装具及び第1マトリックス材料を容器内に定置する工程と、

ある量の第2マトリックス材料を前記容器に加える工程と、

前記第2マトリックス材料を固化させる工程と、

前記歯列弓模型、前記歯科矯正装具、前記停止部材及び前記第2マトリックス材料を前記容器から取り外す工程と、を含む、歯科矯正治療用のインダイレクトボンディングトレーを製造する方法。

【請求項3】

歯科矯正治療用のインダイレクトボンディングトレーを製造する方法であって、患者の歯列弓の少なくとも一部を表すデジタルデータファイルを準備する工程と、前記デジタルデータファイルを用いて、ラピッドプロトタイピングにより前記患者の歯列弓の模型、咬合停止部材及びトレー成型容器を形成する工程と、歯科矯正装具を前記歯列弓模型の歯表面上に定置する工程と、前記停止部材を前記歯列弓模型の咬合側歯表面と接触させる工程と、ある量のマトリックス材料を前記容器に添加する工程と、前記歯列弓模型及び前記歯科矯正装具を前記容器内に定置する工程と、前記マトリックス材料を固化させる工程と、を含む、歯科矯正治療用のインダイレクトボンディングトレーを製造する方法。